

shin koh

2023 (令和5年)

西光寺々報

心耕

しんこう

3月号

娘の友達がよくお寺で遊んでいます。「おかしちよーたい」「おかわり」「アイスないの?」自分の家かとおみたりしますが、まあお寺で遊ぶ所では

今月の行事

十二日(日) はじめの一步

午後一時より 正信偈をわかちやすく

春季彼岸会

三日浦とも 午後一時より

二十日(月) 日没礼讃

若任取

二十一日(火) 初夜礼讃

二十二日(水) 中夜礼讃

十六日(木) おみかき

午前十時と十二時 仏具を清掃します

十九日(日) 草取り

午前八時と九時 久しぶりです

勉強会

写経会

壮年会 一日 午後六時 二十日 午後一時

婦人会 十日 午前十時 お朝事 毎朝 六時半

突然ハ字体が変わり、戸惑う方もおられまじう。

任取の手が思うようになりませんでしたので、代筆となりました。表は手書でやってみました。これがナカフカ難しいのです。まあ漢字がよすぎません。日冒頭の「突然」という字も一回調べました。下手ではなさそうですが、どうせお付合せ下さいませ。

若任取

お彼岸の家庭参りについて

家庭参りを希望される方は、刻の返信ハがきに、地区割表を参考にして、お寺に連絡して下さいます。

下さい

法座案内

十二日(日) 午後一時～

はじめの一步(第十四回)

正信偈最後の会です

春季彼岸会

十三時～十五時

太陽が真西に沈む春分の日。西は、阿弥陀如来が建立された極楽浄土を表します。阿弥陀如来のすくいを考える時間が彼岸会です。

午後の部 十三時～

日付 日没礼賛 法話

二十(月) 初夜礼賛 若任職

二十一(火) 中夜礼賛 住職

二十二(水) 三島さん

*感染症予防にご協力を

*お彼岸の家庭参りは、別項を参照の上、同封ハガキにて返送して下さい。

各種ご案内

・お朝事

毎朝六時半～七時、お勤めをしています。日々のお参り、命日などにお参り下さい。

・草取り

十九日(日) 八時～九時 お手伝い歓迎

・写経会

十日 十三時～十五時 どなたでも♪

・壮年会・婦人会主催の勉強会

壮年会 一日 十八時～ 四月は五日

婦人会 十二日 十時～

・おみがき

仏具をきれいにします。簡単な作業です。是非 お手伝いください

十六日(木) 十時～十二時 弁当付

・門信徒会費(任意) 口座振込先

振込番号です ゆうちよ銀行

西光寺門信徒会 00180-0-713424

会費 年間一万二千元

・心耕発送者募集!

心耕(月刊西光寺新聞) 発送作業をお手伝いいただける方を募集します。

形態:三カ月に一度 主に月初めの平日 時間:一〇時～一二時 特製ランチ付♪

・西光寺公式アカウントが出来ました

西光寺のライン用アカウントが出来ました。お寺の行事などを配信予定です。

ラインをされている方は、左のQRコードから登録してください。

・西光寺チャンネル新作動画配信

YOUTUBEの西光寺チャンネルにて「お家で読もうしんじんのうた」の動画を配信!

西光寺チャンネルで検索か、以下QRで

・愚痴聞き場「あみだぐち」

若手僧侶で愚痴聞き場をラインで設けています。以下からアクセス!

・感染症対策について

37.5℃以上の発熱、咳が出る方はお参りをお控え下さい。マスク着用、消毒にご協力下さい。法座等の集まる行事では、念の為、氏名をご記入頂く場合があります。



修行 『大経』十二

修行と言つても人それぞれで目的はまちまちです。では法蔵はどのような目的を持ったのか？法蔵比丘が世自在王に依頼する言葉から始まります。

熱く法蔵「悟りを求める心が起きました。どうか法を教えてください。修行して浄土を造り、衆生の苦の本を取り除きたい」三つの撰取 法・浄土・衆生

冷たく世自在王「修行するところの浄土は自ら学べ」

謙虚に法蔵「判らないのです。諸仏の浄土を教えてください。」

それを聞いたら修行して願を完成させます」

懇ろに世自在王「大海の水を汲みだすのに時間を懸ければ底に至って泥を得られるだろう。道を求めて留まらなければ必ず成し遂げるだろう」と言つて、二百十億の諸仏の国の人天の善悪や国土の粗妙を説き現じた。法蔵はその法を聞き、悉く国土を見て無上殊勝の願を発し、五劫の間を使って考えて清浄の国土の行を撰取したのです。このことを世自在王に告げると

力強く世自在王「今、時期が熟している。説くべき時である。一切の衆生を喜ばせなさい。菩薩よ！無量の大願を満足させなさい」

徐に菩薩「どうか聞いて留め措いてください。今から殊勝の願を説きます」とここから四十八願が宣べられます。

何故か世自在王の登場はここで終わります。それを予見して、法蔵と世自在王の会話の途中に阿難が釈迦に「世自在王の寿命は？」と訊ね釈迦が「四十二劫です」と軽く答えています。一世界一仏の考えからすると、世自在王が三十七劫の時に法蔵比丘と遇われ法蔵比丘が五劫を思惟して無上道を得た時に世自在王は既に四十二劫を過ぎたことに成り去って往きます。つまりこれからは阿弥陀如来の時代となるのです。

龍樹大士は、法蔵比丘が世自在王から教授を受けて阿弥陀如来と成ったことに感銘し、五十三仏全てが次々に教授していると考えます。しかもジャータカにおける燃灯仏から儒童梵士に「必ず釈迦になる」と授記をする話から、誰一人として教えを請わない者はいないという結論に達します。つまり教えを受けずに一人で覚者になることはいないと断じます。その教えとは大慈大悲なのです。『十住毘婆沙論』では諸仏も諸菩薩も阿弥陀如来から教授されたとしています。ここから親鸞聖人は無量寿仏と号する前の名を「海徳仏」であると味わっておられるようです。

狂言

きょうげん
伝統芸能の「狂言」の語源は、仏教用語が由来です。話を大げさに盛ったり、飾り立てたりすることを「狂言綺語」とい



二年のイイコ
が成長して
キヨとした
サる性身

い、人を惑わす言葉として經典に出てきます。この

「狂言」が伝統芸能の「狂言」に当てはめられました。

「狂言」の源流は、動物や人物の滑稽なしぐさを表現した猿楽です。そこから、舞や歌を用い抽象的表現に進んだのが能です。猿楽の滑稽さが進んだのが「狂言」です。

能にも「狂言」にも、浄土教が土台となっている演目があります。「宗論」は、日蓮宗の僧侶と浄土宗の僧侶が南無妙法蓮華経と南無阿弥陀仏のどちらが優れているのか争い、ぐだぐだになり、結局お互い認め合うという結末で落語にもなっています。

「悪太郎」は、やんちゃな青年とそれをなんとかした叔父が、青年が寝ている隙に青年の髪を剃り、お前の名前は南無阿弥陀仏だ！とお告げのよ



うに、出家させていくという演目です。「悪太郎」はいずれいれずれ節談説教にしたいなーと考えております。

こんなところに 仏教用語

身近な仏教用語を紹介しています。

警策

きょうさく
真宗で行う事のない座禅のお話です。座禅をイメージ



してください。木の棒で肩をパーンと叩かれるシーンを思い浮かべてください。その木の棒の事を「警策」と言います。「警策」をどう読むかは宗派によって異なります。「きょうさく」と読むと曹洞宗、「けいさく」と読むと臨済宗・黄檗宗となります。この度はあいうえお順で早い方の「きょうさく」という読み方で統一致します。素材は檜の木でできていることが多い、ある程度の痛みは生じるそうです。

では、何のために肩をたたくのでしょうか。「警策」は「警策励」の略で、目覚めさせ励ますという意味があります。集中できていないときや、寝ているときに、パーンと打つそうです。打つ時も不意に打つわけではありません。右肩にまずは軽く乗せ、打つ側は一度礼をします。その後、パーンと打ちます。打たれた側は、その後礼をします。右肩の理由は、左肩には袈裟がかかっているからです。打つ側も打たれる側も礼をする。座禅以外でも、様々な社会で通用する指導の心得ではないでしょうか。何事もまずは礼をしてから。



みんなの寺カフェ

花まつり企画

紙切り体験

みんなの寺カフェとは？

世代を超えて立場を超えて交流
できる場所です

大人も子どもも関係なく参加して
下さい

今回の体験企画は紙切り体験

昼食はカレーの予定です



紙切り師：林家 喜之輔師
落語芸術協会所属

芸歴

平成 26 年(2014 年)10 月

林家今丸に入門

平成 28 年(2016 年)3 月

楽屋入り

平成 30 年(2018 年)3 月

前座修行終了 紙切り師としてデビュー

大人のみの参加 OK！
子どものみの参加 OK！
(親御さんがいなくても大丈夫な子)

4月9日(日) 10:00~12:30

会費：大人 500 円/子ども(18 歳未満)無料 *昼食付

持ち物：はさみ

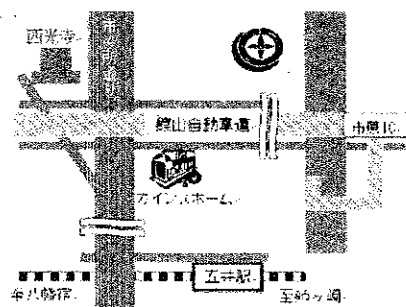
予約締切：4/8 *予約制

場所：西光寺 市原市根田 723-1

連絡先：0436-22-7412

*感染症予防にご協力をお願いします。

主催：みんなの寺カフェ 共催：西光寺子ども会



お彼岸家庭参りのご案内

お彼岸の家庭参りをご希望の方は、同封の返信ハガキにて希望日時をご記入ください。今年は住職の体調が思わしくなく、ほぼ若住職で参りますのでお参り期間を多めにしています。以下の地区割り票を参考にいただき、そのほかは予備日を使って下さい。地区割り票の参考は大体で結構です。

できるだけご希望の通りにお参りをする予定ですが、30分前後は余裕を見ていただければと思います。大幅にずれそうなときにはこちらから事前に連絡をいたします。

日	地区	日	地区
6日	予備日	17日	能満～辰巳台方面
7日	予備日	18日	八幡～菊間方面
8日	予備日	19日	五井方面
9日	千葉方面	20日	国分寺台方面
10日	袖ヶ浦方面	21日	国分寺台方面
11日	予備日	22日	国分寺台方面
12日		23日	予備日
13日	光風台～西国吉方面	24日	予備日
14日	姉崎～桜台方面	25日	予備日
15日	岩崎～青柳方面	26日	予備日
16日	潤井戸～ちはら台方面		

住職多感

表紙を初めて若住職に頼んだ。これから若住職なりの表紙に親しんでいってもらいたい。去年の夏からこつち体の変調著しく日によっては体を動かすのも億劫おっくうになったりする。この3月号を作るにあたっては、右手が鉛筆さえ握れなくなる有り様で、どうなるんだらうかと不安になって整形外科に行ったら単なる筋肉の炎症と言われた。これから先のことも心配なので、3月に入れば人間ドックで診てもらおうことになっている。

△強いばかりが男じゃないと いつか教えてくれた人……▽ご存知の方も多いと思うが「浅草の唄」の歌である。イントロから歌い出しにかけて月光仮面のメロディーによく似ており私らの年代には覚えやすくもある。私のカラオケリストにしつかり入っている。

〇〇ばかりが△△じゃない。他にもたくさん使えそうなフレーズだ。例えば、早いばかりが列車じゃない。贅沢ぜいさくばかりが豊かさでない。すぐにいくつでも出てくる。

《よしあしの 文字を知らぬ ひと はみな まことのこころ なりけるを 善悪の字知り顔は 大虚事おほそらじとのかたちなり》

有名な親鸞聖人の歌であるが、真宗門徒が唱和する正信偈の冒頭の【帰命無量寿如来きみやうむりやうじゆにょらい 南無不可思議光なまふかしぎこう】を知るに大切な歌である。

限りのない世界の真っ只中に必ず帰ってきなさい。中々解かることではありませんが、と聞いてください。分からないから、正信偈には阿弥陀様の物語、其れを説いて

くださったインド・中国・日本の坊様方の話が続き、最後に【唯可信之高僧説ゆいかしんしこうせうせつ】と結ばれるのです。

今度のお彼岸は、この話をします。

住職

ナンマンダブナマンダブ

四月の行事

・十二日(水) 常例法座

・二十三日 日曜法座

・写経会 勉強会

いつもどおり

・九日(土) 子供会

・廿六日(土) 草刈り

◎御晨朝ごあさじ 午前六時半 毎朝

発行

浄土真宗本願寺派(西)

西光寺

〒二九〇一〇〇二四

千葉県市原市根田

七三三二一

TEL. 0436-22-7412

FAX. 0436-24-1652

HP. <https://www.saikohji.net>

MAIL saikohji@saikohji.net